

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ONE STEP
住 所	沖縄県那覇市首里赤平町2-12-17
電話番号	098-911-0188

事業所番号	4701-629288-3
管理者名	花村 昭良
対象年度	R7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(II) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		6 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		6 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	130	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ R7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	26,771	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,689	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（R7年4月～R8年3月）

前々々年度（ R7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	26,597,879	円	利用者に支払った賃金総額	25,920,623	円	収支	677,256	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（ R6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	1,755,600	円	利用者に支払った賃金総額	9,505,764	円	収支	▲ 7,750,164	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	-------------	---

前年度（ R5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,853,282	円	利用者に支払った賃金総額	15,795,008	円	収支	3,058,274	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（ 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input type="checkbox"/>
-----------------------	--------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（ 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 障害者の就労支援に関する基礎的研修	
※研修講師 職業リハビリテーション部人材育成企画課長	
※実施日・受講者数 7月29日 2人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名 全国福祉事業所オンライン事例検討会	
※実施日 3月13日及び17日	
※学会誌等名	
※掲載日 月 日	
※発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※派遣的事業者名 UNIBO、豊田T-FACE	
※実施日/参加者数 1月23日 16人	
※他の事業所名 神戸ケアエースホーム	
※実施日/参加者数 8月20日 9人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名 Web・SNS活用EXPO	
※主催者名 RX Japan株式会社	
※日時 2025年6月19日	
※内容 パートナーシップ・外注受託の商談 弊所のSNS運用サポート（BPO受託）提案	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
※人事評価制度の制定日 2021年11月1日	
※人事評価制度の対象職員数 4名	
※うち昇給・昇格を行った者 4名	
※当該人事評価制度の周知方法 キャリアパス表の公表	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input checked="" type="checkbox"/>
※配置期間 2025年11月1日～3月31日	
※就業時間 9:00～18:00	
※職務内容 各種プロジェクトの業務内容の利用者に対する指導及び管理	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日 月 日	
※第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 月 日	
※規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した	<input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所 ONE STEP	事業所番号	4701-629288-3
住 所	沖縄県那覇市首里赤平町2丁目12-17	管理者名	花村 昭良
電話番号	098-911-0188	対象年度	令和7年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施場所 保育園あがみてい</li> <li>■ 実施日日程 2025年4月～継続中</li> <li>■ 対象利用者 2-3名(支援員1名同行)</li> <li>■ 作業内容 保育園内の清掃活動、草刈り等の美化活動</li> </ul>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>草刈りをしている様子</p>  <p>清掃活動をしている様子</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>連携先における草刈りや清掃活動を通じて、効率的な手順の習得や粘り強い集中力、周囲と連携するためのコミュニケーション能力の向上を図ります。こうした実地での経験を積み重ねることで、社会性を養い、一般就労への円滑な移行を目指します。</p> <p>企業側においては、環境整備による人材不足の解消に寄与するとともに、共に活動することで 障がい者雇用への理解を深め、誰もが働きやすい職場環境づくりのきっかけとしていただきます。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>普段はPCやスマートフォンを用いたデスクワークが中心であるため、屋外での草刈りや清掃といった「身体を動かす実作業」は、利用者にとって非常に有意義なリフレッシュの機会となりました。日光を浴びながら体を動かすことで、日頃の運動不足解消だけでなく、ストレスの軽減やメンタル面の安定・改善に大きく寄与しています。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

## ■連携した結果に対する意見または評価

保育園側からは、「人手が必要な環境整備（草刈りや網戸の清掃など）を丁寧に行ってもらえて非常に助かっている」との高い評価をいただいています。  
利用者側にとっても、活動を通じて地域社会との接点を持つことは、社会性を養う貴重な実践の場となりました。

## ■今後の連携強化に向けた課題

現在は清掃や草刈りが中心ですが、今後はより多様なニーズに応えられるよう、作業工程のバリエーションを増やすことが課題です。また、天候に左右されやすい屋外作業以外の活動メニューも検討し、より「安定的かつ継続的な連携体制」を目指します。

連携先企業名	株式会社おきなわ e d u	担当者名	島尻
--------	----------------	------	----

## 就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所 ONE STEP	事業所番号	4701-629288-3
住所	沖縄県那覇市首里赤平町2丁目12-17	管理者名	花村 昭良
電話番号	098-911-0188	対象年度	令和7年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 集中力維持とマインドセットの講習 「超集中」状態を作るための環境設定（バイノーラルビートやソルフェジオ周波数の活用）について学習。 行動の目的を明確化する「2W1H（何のため、何を、どのように）」の思考法を習得。</li> <li>■ 創造的思考と問題解決技法の訓練 物事を要素ごとに分解して考える「因子分解交換法」を用い、業務上の課題を論理的に整理する手法を実践。 マインドマップを活用し、一つのテーマから本質や課題を深掘りするトレーニングを実施。</li> </ul> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一般就労に向けた実践的な知識・能力の向上 業務課題を論理的に整理し、自ら改善策を提案できる能力の向上を図る。また、施設外での実践的な学びを通じ、一般企業で働くための具体的なイメージを形成し、就労意欲を高めることを目的とする。</li> <li>■ セルフマネジメントと集中力維持の習得 「超集中」のための環境設定や思考法（2W1Hや周波数の活用）を学び、限られた時間の中で生産性を最大限に高めるための自己管理能力を習得する。これにより、一般就労においても適用する持続的な作業遂行能力を身につける。</li> <li>■ 地域連携を通じた障がい者支援への認知向上と社会参画 「ごみ拾い遊び」などの事例から、地域の課題解決（人手不足等）にエンターテインメント性を加味して取り組む手法を学ぶ。地域社会との接点を構築することで、障がい者支援に対する地域の理解を深めるとともに、適切な接し方についての相互理解を促進する。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 論理的思考力と提案力の向上 「因子分解」の考え方を習得したことで、複雑な業務指示を細分化して理解できるようになり、不明点を具体的に質問できる能力が向上した。</li> <li>■ 社会性とコミュニケーション意識の変容 「アイデアの生死は第三者の反応で決まる」ことを学び、職場内での建設的な意見交換（良い点を見つける空気感）の重要性を認識した。</li> <li>■ マーケティング視点（みんなが求めるものを考える）を取り入れることで、受け手の立場に立った業務遂行が可能となった。</li> </ul>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
---	---

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

利用者の皆様はメモを取りながら真剣に耳を傾ける姿が非常に印象的でした。特に『因子分解』や『超集中』といった難しい概念に対しても、自分たちの業務にどう活かせるかを考えながら受講されており、その真面目な学習姿勢に感銘を受けました。新しいことをどんどん吸収しようとする前向きな姿勢は、就職してからも周りの人たちに頼りにされる大きな強みになると信じています。

連携先企業（担当者）

Dr.Happy 発明家 / 幸内政年

## 利用者からの意見・評価

利用者Kさん

「今回の講習で学んだ『因子分解交換法』や『オズボーンのチェックリスト』は、複雑な作業を整理するのにとても役立つと感じました。これまでは指示を待つだけでしたが、物事を要素ごとに分解して考えることで、自分なりに改善案を見つける楽しさを知ることができました。施設外での活動を通じて、一般企業で求められる『自ら考えて動く力』の重要性を実感し、就職に向けた具体的な目標を持つことができました。」

利用者Oさん

「チームで一つの企画や作業に取り組む中で、『ファンクロス（他者との協力）』という考え方が一番印象に残っています。自分一人では思いつかないアイデアが、仲間と話し合うことで形になっていくプロセスを経験し、チームにおける自分の役割をやり遂げる責任感が芽生えました。これまで対人関係に苦手意識がありましたが、共通の目的（大義名分）を持って取り組むことで、自然と周囲とコミュニケーションが取れるようになり、自信に繋がりました。」